

# Minami Kyushu University Syllabus

Minami Kyushu University Syllabus									
シラバス年度	2023年度	開講キャンパス	開講キャンパス	都城キャンパス	都城キャンパス	開設学科	開設学科	子ども教育学科	
科目名称	キャリア入門					授業形態	授業形態	講義	
科目コード	160001	単位数	2単位	配当学年	2	実務経験教員	実務経験教員	アクティブ ラーニング	○
担当教員名	植村 秀人							ICT活 用	
授業概要	<p>変化の激しい社会情勢の中で、自分自身の生き方を計画し実行していく力が求められている。これは、子どもにかかわる仕事を目指している学生にあっても同じである。</p> <p>本授業では、自分自身の生き方を計画し実行していく力（キャリアデザイン力）と位置づけ、キャリアをデザインしていくことについて学び考えることとする。</p> <p>そのことによって大学2年後期以降の学修や進路選択を主体的に行えるような力の形成を目指す。</p>								
関連する科目	キャリアデザイン、子どもと地域、子ども支援地域活動Ⅰ・Ⅱ								
授業の方法と進め方	配布資料を基本として、各回の内容に取り組む。 講義授業ではあるが、随時個人ワークやグループワークを行う。 なお、グループワークについては、第2回目にグループを編成する。								
授業計画【第1回】	オリエンテーション～キャリア形成の重要性～ キャリア形成の重要性の理解、本時の概要等の説明を行います。								
授業計画【第2回】	大学生活とキャリアデザイン①～これまでの学修とキャリア形成～ これまでの学修などの振り返り、大学における学修とキャリア形成の関係について考える。								
授業計画【第3回】	キャリアデザインの意義を考える①～そもそも「キャリア」「キャリアデザイン」とは何か～ 「キャリア」「キャリアデザイン」とは何かを考える。								
授業計画【第4回】	キャリアデザインの意義を考える②～キャリアデザインが必要な背景～ キャリアデザインが必要になった背景について理解する。								
授業計画【第5回】	キャリアデザインの意義を考える③～社会人基礎力とは何か～ キャリアデザインに関連して、社会人基礎力やSociety 5.0等の概念について理解する。								
授業計画【第6回】	キャリアデザインと社会①～キャリアデザインと働くこと～ 働くことの意義を知り、働くこととキャリアデザインの関係を考える。								
授業計画【第7回】	キャリアデザインと社会②～キャリアデザインと生活～ 生活の観点から、働くことやキャリアデザインを考える。								
授業計画【第8回】	キャリアデザインと社会③～キャリアデザインと学ぶこと～ キャリアデザインを考えるうえで、								
授業計画【第9回】	キャリアデザインと自己理解①～自己理解とは～ 自己理解の重要性について考える。								
授業計画【第10回】	キャリアデザインと自己理解②～自己理解の実践①～ 自己理解を実際に取り組んでみる。								
授業計画【第11回】	キャリアデザインと自己理解③～自己理解の実践②～ 自己理解を実際に取り組んでみる。								

授業計画 【第12回】	キャリアデザインとコミュニケーション～コミュニケーションを考える～ コミュニケーションとは何か、これから必要なコミュニケーション力について考える。
授業計画 【第13回】	大学生活とキャリア②～これからの学修とキャリア形成①～ これからの学修など大学生活を、今後のキャリアとの関係から考える。
授業計画 【第14回】	大学生活とキャリア③～これからの学修とキャリア形成②～ これからの学修など大学生活を、今後のキャリアとの関係から考える。
授業計画 【第15回】	おわりに～これからのキャリア形成～ 本時のまとめ、担当者からの感想文などへのコメント
授業の到達目標	①社会変化に応じた生き方を考える力を得る。 ②キャリアデザインに関連する用語（社会人基礎力、Society 5.0等）や社会背景について理解している。 ③自分のキャリアをどのように形成すべきか考え、その実現のための計画や行動ができる。 ④キャリアデザインのために学ぶことの重要性を理解している。
学位授与の方針 (DP)との関連	3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(1) / 3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(2) / 3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(4) / 3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(5)
授業時間外の学習 【予習】	予習を行うこと（各1時間） 課題に取り組むこと（各1時間）
授業時間外の学習 【復習】	復習を行うこと（各1時間） 毎回の感想文に取り組むこと（各1時間）
課題に対する フィードバック	試験期間中に、それまでの感想文などについて返却しフィードバックする。
評価方法・基準	①毎回の感想文 60%（15回×4点） ②最終課題 10% ③グループワーク及び提出物 30%  ③グループワーク及び提出物は、①感想文・②最終課題を除いた各種活動の実際や提出物を評価する。それらの合計を30%（30点分）として評価に組み込む。評価時に小数点が発生した場合には、小数点第一位を四捨五入する。 再試にあつては、①及び②の合計点に再試の評価を行う。 このような配点のため、出席を必ずし、提出物等の漏れがないようにすること。
テキスト	配布資料を基に実施する
参考書	渡辺峻・伊藤健市（編集）：「学生のためのキャリアデザイン入門<第3版>」：単行本：中央経済社：2015/10/24 大宮登ほか5名（著）：「理論と実践で自己決定力を伸ばすキャリアデザイン講座（第3版）」：単行本：日経BP：2019/2/15 山崎京子・平林正樹（著）：「未来を拓くキャリア・デザイン講座」：単行本：中央経済社：2018/8/28 稲本恵子（著、編集）：「大学生のキャリアデザイントレーニング-キャリア理論/自己理解/社会人基礎力」：単行本：晃洋書房：2020/4/10 稲本恵子・白井弘子・吉浦昌子（著）：「社会人基礎力(大学生の社会人準備講座)」：単行本：晃洋書房：2018/3/20 吉原恵子・間瀬泰尚・富江英俊・小針誠（著）：「スタディスキルズ・トレーニング（改訂版）-大学で学ぶための25のスキル-」：単行本：実務出版：2017/10/10 西川真理子・橋本信子・山下香・石黒太・藤田里美（著）：「アカデミック・ライティングの基礎-資料を活用して論理的な文章を書く-」：単行本：晃洋書房：2017/4/20
備考	